

鹿児島県漁海況週報

平成23年6月23日発行(6月16日～6月22日)
第2409報【旧暦：5月15日～5月21日/月齢14.2～20.2/潮汐：大潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は6月22日現在、平瀬の北6.9マイル付近にある。

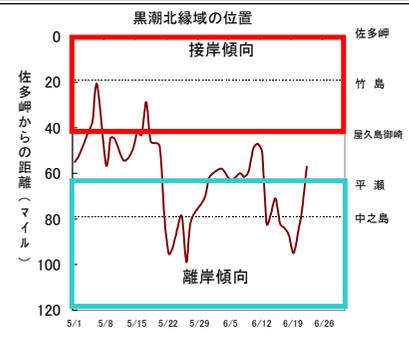
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は6月21日現在、44マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、屋久島御崎で変わらず、その他の海域で0.2～2.3℃上昇した。

平年比較では、与論で“著しく高め”、中之島で“かなり高め”、黒潮流域、与路島で“やや高め”、竹島、笠利崎で“平年並”、その他の海域で“やや低め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	28.0	+1.3	+0.7	やや高め
鹿児島	22.9	+0.6	-0.7	やや低め
佐多岬	22.6	+0.2	-1.2	やや低め
竹島	24.0	+1.9	-0.6	平年並
屋久島御崎	24.2	+0.0	-1.2	やや低め
中之島	27.8	+1.7	+1.1	かなり高め
笠利崎	26.1	+0.5	+0.0	平年並
与路島	26.3	+2.3	+0.9	やや高め
与論	27.9	+0.9	+1.7	著しく高め
甌海峡	22.4	+0.2	-1.0	やや低め

鹿児島一那覇定期客船観測は6/22
串木野一甌定期客船観測は6/22

【漁況】

○定置網

甌海域では、マアジ(100～200g)が1トン/日、サバ仔・アジ仔混じりが150kg/日の入網。西薩南部海域では、多い日でハグツオ(700～800g)が2～3トン、シラ(2～10kg)が500kg、トウオ(100～200g)が300kg、クロマグロ(50～70kg)が5～6尾の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、週計でマアジ(150～200g)が3トン、スマ(800～900g)が300kg、キハダ(40kg)が5尾の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、サバ仔・アジ仔混じりが150kg/日、アカマス(100～200g)が多い日で150kg、週計でキハダ(3～5kg)が20尾、カンパチ(4～6kg)が30尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で54統がウルメイワシ、サバ小、ハグツオ主体に73トンの入網。志布志湾南部海域では、チダイ、マアジ他を週計で7トンの入網。熊毛海域では、ヒラウダ(1kg前後)が70～150尾/日、サバ仔・アジ仔混じりが150kg/日、ハグツオ(700～800g)が多い日で100尾の入網。

○キビナゴ刺網

甌海域では5～20箱/隻・日の漁。西薩南部海域では7～8箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では2～3箱/隻・日の漁。

(まき網、専受網、カツオ平均的漁況は下記の記事に記述しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	※前年同期(第2361報)					
						1日1統	前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量	
旋網	阿久根	大	0	—		—	1	2	2	11	
		中	4	47	甌 長島	カクチイワシ40 ウルメイワシ15 マイワシ小12	11.8	11	86	22	160
	枕崎	大	0	—			—	5	167	2	100
		中	1	8	種子島東	モロ小98	8.2	10	335	13	239
	内之浦	中	0	—			—	0	—	0	—
	山川	中	0	—			—	0	—	0	—
計	大	0	0			—	6	169	4	111	
	中	5	55			11.0	21	421	35	400	
東海旋網	阿久根	0	—			—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—			—	0	—	0	—	
棒受網	阿久根	5	2	阿久根沖	カクチイワシ53 ウルメイワシ29 マイワシ小19	0.5	35	70	104	158	
	内之浦	0	—			—	0	—	7	7	
定置網	内之浦	54	73		ウルメイワシ30 サバ小20 ハグツオ14	1.4	52	112	57	47	
刺網	阿久根	大	0	—	甌 牛深沖	キビナゴ100	0.2	69	16	82	9
		小	0	—			—	0	—	0	—
カツオ竿釣・海外旋網	枕崎	大	0	—		—	0	—	0	—	
		小	0	—			—	1	26	0	—
	海旋	1	678		カツオ中63 カツオ大16 カツオ小13	678.0	0	—	0	—	
	山川	中	4	56		カツオ小72 キハダ14 マハチ11	14.0	10	161	1	10
	海旋	1	721		カツオ小54 キハダ38 カツオ中5	720.9	0	—	0	—	
瀬戸内	小					—					

○トビウオロープ曳網

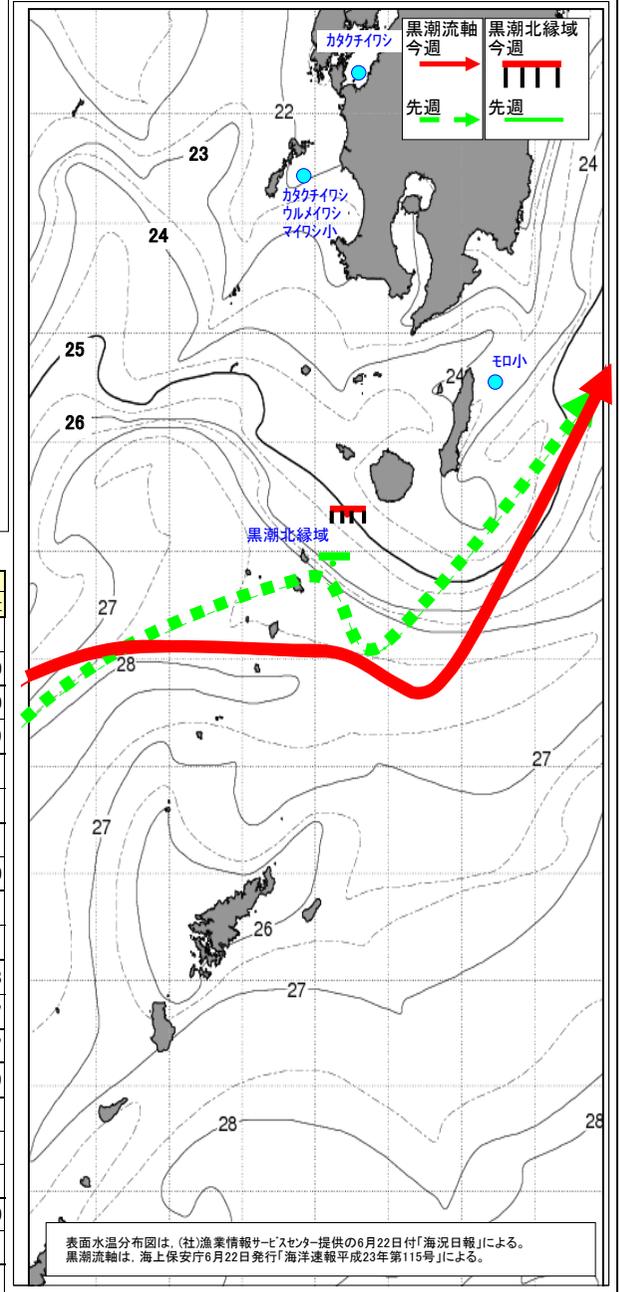
種子島海域では、多い日で小トビを20箱/統、中トビを40箱/統の漁。屋久島海域では、多い日で中トビを12箱/統、小トビを9箱/統、アトビを24箱/統、セトビを72箱/統の漁。奄美南部海域では大トビを5～50kg/統・日、小トビを10～15kg/統・日の漁。

○パツチ網

西薩海域では操業がなかった。志布志湾海域では製品で5トンの入札があった。

○その他

西薩海域では、ごち網で多い船でマイ(0.6～4kg)を20～30kg/日、チダイ(100～150g)を100kg/日、かごでサバフグ(200前後)を500kg/隻・日、一本釣りでイサキ(400～500g)を多い船で50kg/日、曳縄でハグツオ(400～800g)を70～80kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、延縄でハグツオ(400～800g)を30～100kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣りでコマサバ(600前後)を60～100尾/隻・日、素潜りでトコシ(7～8cm)を2～5kg/人・日の漁。奄美海域では、旗流しでソデイカ(胴体のみ13kg)を1～7尾/隻・日、一本釣りで好ウオ(1.0～1.5kg)を30尾/隻・日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の6月22日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁6月22日発行「海洋速報平成23年115号」による。